

ラグジュアリースポーツカーでクルマを愉しむ大人の遊び体験

LEXUS AMAZING EXPERIENCE

第4回ドライビングレッスンが富士スピードウェイにて実施

2015年3月27日（金）、28日（土）

LEXUS は、2015年3月27日（金）～28日（土）に富士スピードウェイ（静岡県東駿郡）にて、LEXUS AMAZING EXPERIENCE 第4回ドライビングレッスンを実施しました。

LEXUS AMAZING EXPERIENCE は、「革新的で驚きに満ちた体験を“大人の遊び”として提供する」をコンセプトに様々なクルマの楽しみ方を提案する体験型プログラムです。LEXUS は、このプログラムを通じて、クルマを単なる道具ではなく、楽しみを生むパートナーであることを体験していただきたいと考え、定期的に様々なイベントを開催しています。その中でもサーキットを借り切るドライビングレッスンは応募率が平均10倍を超える人気プログラムとなっており、今回の応募は定員20名に対して、600名以上、当選倍率は約30倍という最高記録を更新しました。

当日は、抽選によって選ばれた20組が参加。運転初心者からレース経験者、20代～50代の男女等幅広い層の参加者が日本各地から富士スピードウェイに集まりました。



【開催概要】

イベント名：LEXUS AMAZING EXPERIENCE第4回ドライビングレッスン

開催日時：2015年3月27日（金）～3月28日（土） 2日間

※2日間に亘ってのプログラムです

会場：富士スピードウェイ（レーシングコース、ショートサーキット、特設コース）

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694

募集人数：20名様

レッスン車両：LEXUS AMAZING EXPERIENCE 事務局の手配車両

LFA、RCF、RC350 F SPORT、RC300h F SPORTS、IS350 F SPORT

【1日目】

LEXUS INTERNATIONAL レクサスブランドマネジメント部 室長 沖野和雄の挨拶に始まり、オープニングセレモニーがレクサスカレッジにて開催。2日間の詳細プログラムやインストラクターが発表されたが、なんと、インストラクターの中にはF1優勝ドライバー、ヘイキ・コバライネン氏の名前も。その他、**SUPERGT**シリーズチャンピオン経験のある伊藤大輔氏等、人気現役ドライバー達が続々登場。豪華なインストラクター達を目の前にし、会場は歓声で沸きました。



いよいよレッスン開始。今回は、ホワイト・プラチナム・ブルーの3つのグループに別れて各コースを回ります。

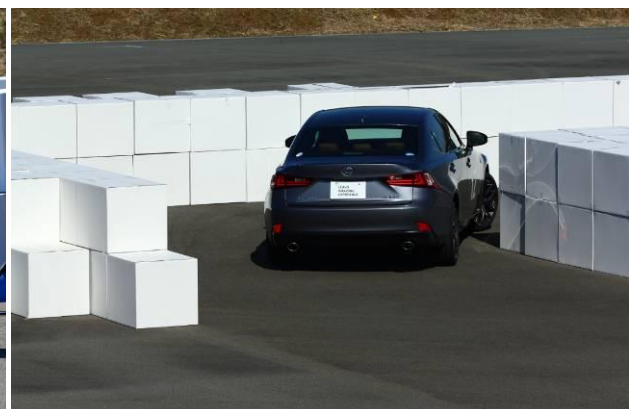
<DYNAMIC CONTROL>

ドライビングレッスン初登場となる、ダイナミックコントロール。パワースライドと呼ばれ、自動車の後部を滑らせドリフトのようにカーブを曲がる、映画さながらのアクションが学べるレッスンです。参加した男性は、「自分がこんなテクニックができるとは思っていませんでした。」と驚きを見せていました。



<BLIND GYMKHANA>

スラローム競技であるジムカーナのコースを、高く積み上げられたダンボールで目隠しして、タイムを競うブラインドジムカーナ。インストラクターのお手本を目にすると、緊張な面持ちの参加者達。ダンボールにぶつかりながらも、回数を重ねるごとにタイムを伸ばし、最終的にはインストラクターのタイムを超える参加者もいるほどとなりました。



<AMAZING SWITCH>

ショートコースで行われる本格的なレースコーステクニックが学べるプログラム。インストラクターが運転する先導車とコース上に引いた線を頼りに、的確な減速と加速、ベストなライン取り、加えて各コーナーのクリッピングポイントには、LEXUS ISのテレビCMで登場したAMAZING SWITCHを設置。コース上8個のスイッチをすべて踏めるかというゲーム感覚あふれる演出を施しました。参加者達は、何個のスイッチを踏めたかを競い合い盛り上がりを見せていました。



<6 SENCE DRIVING>

1日目最後は6センスドライビング。RC350 F SPORTとRC Fを用いたプログラムで、AMAZING SWITCHのゲーム要素は残しつつ、5感・6感で走るこれまでのレッスンの成果を発揮するコースです。今回は、データロガー（走行データ解析システム）を使い、参加者とプロドライバーの走りの差を各コーナーでのスロットル開度やブレーキングポイントなどの詳細に至るまで科学的視点でインストラクターからアドバイスを受け、真剣に挑む参加者が目立ちました。



【2日目】

いよいよメインコースのプログラムが開催されます。ここで、レクサスのスーパーカーLFAが登場です。メインコースにてウォーミングアップ走行ののち、今回の主体となるプログラムの開始です。

<“F” EXPERIENCE>

レクサススポーツの最高峰LFAと新クーペRC Fを交互にドライブできる“F”エクスペリエンス。

初めてLFAのステアリングを握る参加者がほとんどで、興奮と緊張が混ざり合う様子。実際にLFAを運転した参加者は、「まさにスーパーカー！自分が運転したなんて信じられない！」「ブレーキ性能が電子制御ではないので、ちょっと怖かったけど、これか！と実感。とにかく嬉しい。」と笑顔で溢れていた。

人気なのは、LFAだけではなく、RC Fも大人気。「安心して乗れた！」「市販車とは思えないぐらいの高性能で感動。」と会話が弾んでいました。

徐々に慣れてきた参加者達は、メインコースの直線で、時速250km越えを体験し、満足げな面持ちでした。

また、今回はレースの待機中も楽しみが満載です。レクサスの魅力はプロダクトだけではなく、ホスピタリティも魅力の一つで、参加者の胃袋も満たすために、カフェスタンドが登場。神楽坂の人気パティスリー「ATELIER KOHTA」のパティシエ吉岡氏が、目の前で作り上げる、“美味しい瞬間”にこだわったデザートが参加者に振舞われました。



<RACING TAXI>

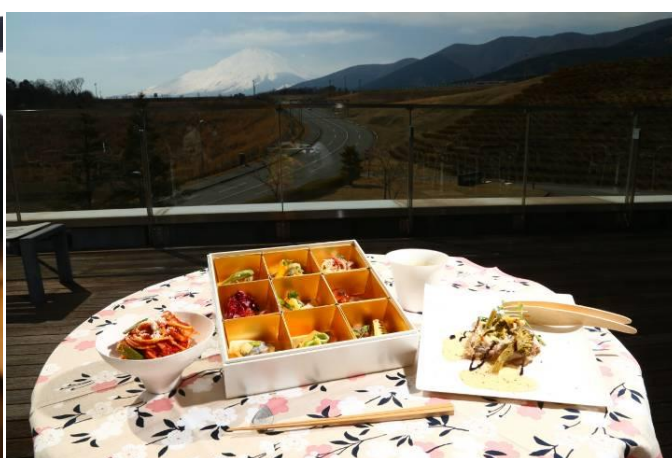
2日間のプログラムの集大成がレーシングタクシー。インストラクターが運転するRCFの助手席に乗り、RCFの魅力をもっと活かしたパフォーマンスを体験できるプログラム。走り出しから、タイヤから白煙を上げ加速するRCFに参加者は大興奮。客席からの眺めもレースさながらで、「すごい！」という声が止みません。壁スレスレを走るサービスパフォーマンスも繰り広げられ、プロのテクニックに歓声があがりました。



<修了式>

2日間のプログラムを終え、コバライネン氏と伊藤氏より修了証が手渡され、また、ブラインドジムカーナで高タイムを叩き出した上位3名には、記念品が贈答され、2日間のプログラムの幕を閉じました。

内容・時期は未定だが次回開催も考えているということで、これからも目が離せない体験プログラムとなりそうです。



【インストラクター紹介】



伊藤 大輔

16歳でカートデビュー、フォーミュラトヨタ、F3とステップアップし、1999年にはF3マカオGPにてアジア人初の表彰台を獲得。2002年からはフォーミュラー・ニッポンにも参戦。2000年から参戦しているGTではGT500クラスのデビューイヤーで2勝、2007年には3勝の末にSUPER GTのシリーズチャンピオンを手にする。2008年にはレクサス陣営へと移籍、2014年シリーズ開幕戦でLEXUSRCFの鮮烈なデビューウィンを果たした。



福山 英朗

1978年デビュー以来フォーミュラー路線を歩み、1991年には日本の最高峰フォーミュラであるF-3000（現在スーパーフォーミュラー）に到達する。1988年からはツーリングカーにもその活動の場を広げ、全日本チャンピオンを3回獲得し、通算5回の年間チャンピオンを獲得することになる。海外では、世界3大レースの一つである「ル・マン24時間レース」に4回出場しすべて完走。中でも2000年には、LM-GTクラスにおいて日本のプライベートチームを優勝に導いている。さらに、アメリカ最大のレースシリーズである「NASCAR」に日本人として初挑戦を果たし（通年参戦）、その歴史に大きな足跡を残した。



水谷 竜也

12歳よりレーシングカートを始め、数々のチャンピオンを獲得後、1994年FJ1600にてフォーミュラレースデビュー。F4でチャンピオンを獲得し、全日本F3に参戦。その後、スーパー耐久・GT選手権に出場し、鈴鹿1,000kmレースではクラス優勝。現在、鈴鹿サーキットのセーフティーカードライバーを務める。



ヘイキ・コバライネン

33歳のコバライネンは、1991年にカートデビュー、2001年にフォーミュラルノーにステップアップ。F3、GP2（2005年シリーズ2位：5勝）等を経て、2007年から7年間にわたりF1で活躍（優勝1回、ポールポジション1回）。日本にも数多くのファンを持つ。新たな顔ぶれとなったLEXUS TEAM SARDは、2013年のSUPER GT GT500クラスチャンピオンである平手とコバライネンという強力なコンビで、タイトルを目指し今季のSUPER GTシリーズに挑む。



新田 守男

1986年に富士フレッシュマンでレースデビュー、1990年から全日本ツーリングカー選手権にカローラで参戦、初年でクラスチャンピオンを獲得。以後、全日本F3や耐久レースにも参戦。1994年からはJGTC、現在のSUPER GTにかけてGT300で参戦。チャンピオンタイトル獲得は1996年、1999年、2002年の3回に及ぶ。現在、GT300で通算最多勝記録18勝を誇る「ミスターGT300」として知られる。



荒 聖治

1994年にフォルクスワーゲンカップでレースデビュー。その後3年間、アメリカでのレース活動を経て帰国後にF4、F3へとステップアップ。SUPER GTへは2000年から参戦。2001年からはFormulaNipponにも参戦を果たした。また、2004年には日本人2人目となる、ル・マン24時間総合優勝を飾るなど幅広い活躍をしている。



渋谷 勉

1989年、FJ1600でデビューし、'91年には、鈴鹿と西日本のダブルタイトルを獲得して、その後F-4、F-3、とステップアップ。

その間も、多くの優勝や好成績を残すが、やがてツーリングカーにも挑戦し、'96年にはCIVICでチャンピオンを獲得。

その後も多く好成績を残すが、中でも、'04年・'05年の十勝24時間レースにおける2クラスでの連覇は、関係者の記憶に新しい。

現在は、鈴鹿サーキットのドライビングレッスン講師などで活躍する。



勝田 貴元

ラリードライバーの祖父、父を持ち12歳でレーシングカートを始める。ジュニアカテゴリーで数々のチャンピオンを獲得し、全日本カート選手権ではデビュー戦で優勝。2010年にはFTRSよりFCJに参戦。2011年には全5勝を上げチャンピオンを獲得。2012年よりTDP（トヨタ ヤング ドライバーズプログラム）に加入し、2013年、2014年と名門トムスより全日本F3選手権チャンピオンクラスに参戦。通算4勝を上げ2013年シリーズランキング2位に入る。2015年度よりWRC日本人初のワールドチャンピオンを目指しラリーの道へと進む。

<公式ホームページ>

http://lexus.jp/brand/amazing_experience/

当日の様子は後日掲載予定です。